

初級レベルの大学英語学習者のための 語彙リストの選定について

高橋 俊章

序

大学入試により、ある程度のスクリーニングが行われているものの、入学して来る学生の英語能力には大きなばらつきがあるのが現状である。そして、学生の中には総合的な英語能力テスト（TOEICなど）の得点が低く、英語を苦手とする、初級レベルの学生も少なくない。英語能力テストの得点が低い原因にはいくつか考えられるが、そのひとつには語彙力不足があげられる。ただし、語彙力を増強する場合、学習すべき語彙数が多すぎると学習意欲が低下することが予想される。また、大学生の場合には、中学校や高等学校での学習を通じて、すでに知っている語彙も多いことから、学習・習得済みの語彙を多く含む語彙リストでは、効率的な学習は困難である。その反対に、高等学校段階までの英語学習ではあまり遭遇しないような、頻度の低い語彙は、初級レベルの学習語彙リストに含む語彙としては適切とは言えない。そこで、本研究では、既習の可能性の高い語彙や低頻度語彙を除外することにより、頻度が3000語レベル程度以下で、総語彙数が1000語程度の、大学初級レベルの学習者用語彙リストを作成することを目的とした。その際、作成した語彙リストを実際の学習に活用する場合の便宜を考慮し、山口大学が大学英語教育学会から、正式に使用許諾を得ている「大学英語教育学会基本語リスト: JACET List of 8000 Basic Words」（以後「JACET8000」）を基礎データとして用いることとした。

1 適切な語彙レベルの決定

1.1 JACET8000について

「JACET8000」は、British National Corpus(BNC: <http://www.natcorp.ox.ac.uk/>)（＝英語母語話者の書き言葉・話し言葉をバランスよく収集した一億語のコーパス）の頻度を基にしたものであるが、BNCの頻度はアメリ

カ英語のデータが入っていないこと、話し言葉のデータが少ないこと、日本人の英語学習の状況を反映したものではないなどの問題があった。そのため、「JACET8000」の編成チーム（大学英語教育学会基本語改訂委員会）は、独自に新聞や雑誌、BBCやCNNのSCRIPT、映画SCRIPT、中高検定教科書、センター入試、TOEICやTOEFLなどの各種試験問題、児童文学など独自にデータ化した580万語のサブコーパス（話し言葉を含む）を作成し、そのサブコーパスの語彙頻度とBNCの語彙頻度を統計的に比較・調整してJACET 8000語を選定している（大学英語教育学会基本語改定委員会（編）、2003）。

1.2 語彙数とカバー率との関係

以下の表はBNC（British National Corpus）の話し言葉1万語コーパスに対するカバー率を示したものである。

表1：BNC（British National Corpus）の話し言葉1万語コーパスに対するカバー率

もっとも頻度の高い	500語で	約83%
	1000語	89%
	1500語	92%
	2000語	94%
	3000語	96%
	4000語	97%
	5000語	98%
	6000語	99%

望月・相澤・投野, 2003, p.26のデータに基づいて作表

上の表から、最も頻度の高い2000語でBNC（British National Corpus）の話し言葉1万語コーパスの94%をカバーしている、言い換えれば、「普段話している語彙の約94%は2000語程度の範囲内にある」（望月・相澤・投野, 2003, p.26）ことになる。そして、96%が3000語程度の範囲にあることになる。これ以降は1000語の単語を新たに覚えたとしても1%程度しかカバー率は変化しないことから、多くの学習者にとって、2000～3000語レベルの語彙学習が現実的な到達目標となるのではないかと思われる。

1.3 JACET8000の語彙レベル設定について

BNCの話し言葉1万語コーパスに対するカバー率に基づき、2000～3000語

レベル程度の語彙の学習という目標を設定することとしたが、先に述べたように、BNCは日本人の英語学習の状況を反映したものではないという問題があった。そのため、BNCで最も頻度の高い2000～3000語までの単語を日本人学習者（初級レベルの大学生）用の語彙リストとして使うのは適切ではない。従って、以下では日本人レベル程度の語彙の学習リストの作成を「JACET8000」に基づいて検討することとする。

「JACET8000」は1000語ごとに1～8の8つのレベルの語彙から構成されている。そのため、2000～3000語程度ということであれば、レベル2～3が目標となる。「JACET8000」のうち、レベル1は中学校卒業レベルの語彙で、レベル2、3は高等学校卒業程度のレベルという設定がされている（ちなみに、中学校卒業程度の語彙としてはレベル1の1000語以外に、「Plus 250」（＝頻度順だけでは重要度が落ちてしまう数詞、月、曜日、不規則動詞の屈折形を別表の形にまとめたもの）も含まれる）（相澤・石川・村田（編），2005，p.11参照）。

表2：JACET8000の語彙レベル設定

・ Level 1	中学の英語教科書などに頻出する基本的な単語 一般の英文の約70%以上は、このレベルの単語で書かれている
・ Level 2	高校初級レベルの単語。英字新聞の75%をカバー 平易な読み物であれば90%近くをカバー
・ Level 3	高等学校の英語教科書レベルの単語 大学入試センター試験はおおよそこのレベルの単語までで作成

相澤・石川・村田（編），2005，pp.4-5 & p.11に基づいて作表

1.4 「JACET8000」（レベル2または3まで）を初級レベルの語彙リストとする問題点

JACET8000語（レベル2または3まで）を（そのままの形で）初級レベルの語彙リストとする場合には、以下の2つの問題点が考えられる。

- (1) レベル3までの語彙を初級レベルの語彙リストとする場合には、3000語の学習が必要となること
- (2) 「JACET8000」の2000語レベル、または、3000語レベルまでの語彙リストの中には中学校レベルの語彙が多く含まれていること、逆に、高等学校で頻度が高くない語彙が含まれていること [注：

本論文では教科書類度 (=レンジ) [何種類の教科書に現れたか] も頻度の指標として扱っている]

(1) の問題点に関して

もし、レベル3までの語彙を初級レベルの語彙リストとすると、3000語の学習が必要となる。しかし、学習すべき語彙数が多くなればなるほど、単語学習への意欲も低下すると考えられる (特に大学の初級レベルの英語学習者の場合)。この問題を解決するためには、初級者用語彙リストの語彙数を抑えることが必要である。

そのためのひとつの方法としてはレベル3までではなく、レベル2までを学習者用語彙リストとすることである。実際、BNC の話言葉1万語コーパスの場合には、最も頻度の高い2000語までの単語で94%のカバー率があり、3000語の場合の96%と大差ない。そのため、2000語レベルまでの単語の学習で十分という議論も成り立ちそうである。

しかし、相澤・石川・村田 (偏) (2005, p.11) が行った調査によれば、①高校教科書、②大学入試、③資格試験、④英字新聞における「JACET8000」のカバー率は2000語と3000語のそれぞれの場合で、①93.9%、96.5%、②93.2%、95.9%、③89.5%、92.3%、④89.5%、92.3%である。従ってカバー率から考えると「JACET8000」で最も頻度の高い3000語までの単語を大学生用の語彙リストに含めた方が良さそうである。

もうひとつの方法は、レベル3までの語彙を含めるが、簡単すぎる語彙や難しすぎる語彙を取り除き (具体的な方法は後述する)、学習する語彙数を1000語程度に抑えることである。このようにすれば、実質的なカバー率を維持しながら、初級レベルの学習者への負担を軽減することが可能である。

(2) の問題点に関して

「JACET8000」のレベル3までの語彙リストの中には中学校レベルの語彙が多く含まれている。中学校レベルの語彙は、中学校や高等学校での学習を通じてすでに何度も遭遇している。そのため、初級レベルの学習者であっても、すでにそれらの語彙を習得していると考えられる。すでに習得済みの語彙を多く含む語彙リストでは、効率的な学習は困難であるため、それらの語彙を除外した語彙リストを作成することが必要である。

単純に考えれば、「JACET8000」のレベル1は中学校卒業程度の語彙であるため、レベル1を除外すれば良いように思われるかも知れない。しかし、

「JACET8000」のレベル2以上にも中学校レベルの語彙はたくさん含まれ、逆に、「JACET8000」のレベル1に中学校レベルの語彙以外のものもたくさん含まれている。

表3：「JACET8000」のレベル2以上に含まれる中学校レベルの語彙の例

fun(1012), weather(1016), useful(1022), holiday(1033), egg(1049)
lunch(1106), tall(1108), sick(1119), busy(1132), library(1198)
plane(1219), sad(1224), fan(1248), desk(1263), careful(1267)
breakfast(1301), gift(1331), cool(1343), lucky(1366), coast(1389)
festival(1418), gate(1428), exciting(1434), camera(1460), birthday(1470)

括弧内は JACET8000の頻度順。100語ごとに5つの例を提示したもの。

上記の単語は、New Horizon(H17年度版)の教科書で使用されている語彙

表4：「JACET8000」のレベル1に含まれる高校レベルの語彙の例

moment(311), whether(360), least(393), expect(405), remain(408)
effect(417), offer(422), certain(428), consider(453), include(494)

括弧内は JACET8000の頻度順。

上記の単語は、New Horizon(H17年度版)の教科書で使用されていない語彙

さらに、高等学校でも頻度（教科書頻度＝レンジに相当）の高くない語が、「JACET8000」のレベル3までの語彙リストの中に多く含まれている。

表5：「JACET8000」（レベル3以下）で、SVL12000頻度（レベル6以上）の語彙の例

gene(1937, 6), protein(1958, 8), fossil(2349, 6), dioxide(2355, 9)
perspective(2378, 6), rubbish(2439, 6), equivalent(2473, 6)
heritage(2555, 6), deliberately(2595, 6), ingredient(2616, 6)

括弧内は それぞれ、JACET8000の頻度順とアルクSVL12000の頻度レベルを示したもの。SVL12000で6以上は、頻度順が6000語以上のレベルであることを示している。

高等学校でほとんど遭遇したことのない語彙、つまり、馴染みのない語彙は、記憶もされにくいと考えられる（注：望月・相澤・投野，2003，pp.95-

97によれば、先行研究の結果から同じ語に繰り返し遭遇することによる学習の効果が示されており、また、語彙知識の少ない学習者ほど、出会い回数が多くないと語彙の習得がされにくいことが知られている。

以上のことから、中学校の教科書で頻度が高い語と重なりが少なく、高等学校の教科書で頻度が高い語と重なりが多い2000語程度の語彙の抽出を行い、大学初級レベルの学生の語彙リストを作成することが最適と判断した。

2 初級レベルの大学英語学習者のための語彙リスト作成方法について

2.1 中学校レベルの語彙頻度情報の収集

上で述べたように、大学初級レベルの学生の語彙リストを作成するためには、中学校の教科書で頻度の高い語彙を除外する必要がある。そのためには、中学校レベルの語彙頻度情報が必要である。

表6：中学校レベルの語彙頻度情報

-
- (1) 中央教育研究所 (2002)
『研究報告No.60 平成14年度版 中学校英語教科書における語彙調査』
 - (2) 瀬谷廣一 (2004)
「平成14年度版 中学校英語教科書〈教科書別・学年別・品詞別〉語彙分析統計」
(2005年11月24日時点) <http://www.eng.ritsumei.ac.jp/seya/>
 - (3) 東京都中学校英語教育研究会研究部
中英研 (東京都中学校英語教育研究会) 研究部中学校教科書語彙
(2006年11月25日時点) <http://www.eigo.org/kenkyu/>
-

上記の(1)～(3)のうち、(2)は平成14年度 中学英語教科書(全7社)本文中で使用された語彙の実数が各教科書別、且つ、各学年別にリストされているもの(pdf形式)である。しかし、各語彙ごとの頻度を知るためには、各語彙ごとに21個の数値(中学校英語教科書全7社×3学年)の合計が必要となる。

(3)の東京都中学校英語教育研究会研究部のHPからは、「平成14年度から17年度まで使われた教科書(全7社)で使用された全ての語い」と「平成18年度から使われている教科書(全6社)の全ての使用語い」の2種類(エクセルファイル)がダウンロード出来るようになっている(ただし、使用は研究目的に限られ、登録が必要。また、利用に際しては出典の明示と研究部への連絡が必要)。エクセルファイルで頻度(教科書頻度)や使用教科書、学年、

出現順、品詞などの情報が得られるのは便利である。

(1) の語彙リストは (2) や (3) と同様、平成14年度 (2002) 中学英語教科書 (全7社) で使用された全ての語いと頻度 (教科書頻度) を載せたものである。(1) は印刷媒体であるため、本来は (3) の方が都合がよい。しかし、(3) の情報を得る前に、(1) の語彙と頻度をエクセルファイルに入力していたこと、平成14年度版の教科書データに関しては、(1) と (2) や (3) から得られる情報に差がないこと、中学校レベルの語彙かどうかを判断する上では平成18年度版でなくても十分な情報は得られるとの判断から、本研究では (1) の資料を使用することとした。

2.2 中学校・高等学校レベルの語彙頻度情報の収集

中学校・高等学校の検定済み教科書に登場する語彙の一覧と頻度を調査したものに塩見 (2002) がある。塩見 (2002) は平成12年度 (2000) 年に発行された文部省検定済中学校・高等学校の全教科書160冊 (中学校7種類、合計21冊; 高等学校 英語Ⅰが48種類48冊、英語Ⅱが54種類54冊、リーディングが37種類37冊、合計139冊) に登場したすべての語彙を対象とし、語彙一覧と頻度をまとめている。

塩見 (2002) によれば、中学校と高等学校の検定済み教科書で使用されている語彙の総数は14,813語あるが、「頻度1回と2回の単語を除けば、半数以下」(塩見, 2002, 序2ページ目) の7,177語になる。また、「頻度上位語2,000語が全教科書に共通に現れるのは13.7%、3,000語が共通に現れるのは8.2%にすぎない」(塩見, 2002, 序2ページ目)。

同じ語数を学習する場合、頻度の低い語を学習するのは効果的とは言えないし、その逆に頻度の高すぎる語彙もすでに既習の語彙と考えられるため、それらの語彙は学習すべき語彙から除外した方がよさそうである。そのため、本研究では、塩見 (2002) に基づき、頻度の高い語彙と、塩見 (2002) に一度も登場しなかった語彙を大学の初級学習者用語彙リストからは除外することとした。その際、塩見 (2002) では頻度が次頁の表のように連番となっていなかったため便宜上の理由から、最も頻度の低いものから最も頻度の高いものまで連番で1~84の頻度別順位を割り振る修正を行った (注: 修正塩見頻度で30程度以下であれば、中学校で既習とみなす基本語がほとんど入らず、また、高等学校で既習の可能性が低い低頻度語彙を除外することが出来ると考えられる)。

表7：塩見（2002）の語彙レベル設定

塩見頻度	修正塩見頻度 (連番)	
***** **	84	文部省中学校指導要領に定めた指定語508語 (従来の指定語：H10年度の指定語100語)
***** *	83	文部省中学校指導要領に定めた指定語508語 (指定語)
**** *46～*1	82～43	指定語以外の中学校で既習と見なす基本語492語
*** 57～20	42～9	頻度20以上の語。中学校英語基本語を含め2,000語以内の語。高等学校教科書の大部分既習とみ なす語。
** 19～12	8～1	塩見頻度19～12回（修正塩見頻度8～1回）の語。 3,000語以内の語。高校学校教科書で既習の可能 性のある語。

注：修正塩見頻度（連番）は塩見（2002）の頻度を筆者が1～84の連番となるように修正したもの

2.3 高等学校レベルの語彙頻度情報の収集

高等学校レベルの語彙頻度情報に関しては、2.2の塩見（2002）以外に、以下の資料が挙げられる。

表8：高等学校レベルの語彙頻度情報

- (1) 杉浦千早（2002）「杉浦リスト（eigo1, Ver. 2）」（2005年7月28日時点）
<http://grad.nufs.ac.jp/sugiura/sugiuralist.html>
- (2) 杉浦千早（2002）「杉浦リスト（eigo2, Ver. 1）」（2005年7月28日時点）
<http://grad.nufs.ac.jp/sugiura/sugiuralist.html>
- (3) 垣田直巳（監修）・三浦省五（編）（1987）『英語教科書使用語彙』 溪水社

(1)と(2)は杉浦千早氏がHP上で公開していた資料(2005年7月28日時点、杉浦氏が名古屋外国語大学大学院所属当時)であり、高校教科書(文部省検定教科書『英語Ⅰ』(平成12年度用)48種類、『英語Ⅱ』50種類)に使用されている語彙がリスト化されたものである。『英語Ⅰ』の単語は頻度の高いものから順番に1位から5556位の単語までがリスト化されており、また、『英語Ⅱ』の単語も同様に、頻度の高いものから順番に1位から7286位の単語までがリスト化されている。

(3) の垣田・三浦 (1987) は、主として1984年発行の『英語 I』(26種類26冊)、『英語 II』(27種類29冊)、『英語 II B』(21種類21冊) の文部省検定済高等学校用英語教科書に掲載されている新語のリストをもとに、語彙の頻度(レンジに相当、つまり、単語が使用されている教科書数)を示している。頻度の最高値は40で最低値は1である。

2.4 大学・一般レベルの語彙頻度情報の収集

大学・一般レベルの語彙頻度情報に関しては、JACET8000以外に以下の資料が挙げられる。

表9： 大学・一般レベルの語彙頻度情報

Standard Vocabulary List 12000 (SVL12000) (2006年1月20日時点)
http://www.alc.co.jp/goi/PW_top_all.htm

Standard Vocabulary List 12000 (以後SVL12000) は、2001年に株式会社アルクが公表した12000語の語彙リストである。12000語の選択やレベル分けにあたっては、Kilgariff (1996) の British National Corpus frequency listをベースにしながらも、英語学習のための各種語彙リスト、中高生向け教科書などに含まれる語彙、BNC以外の各種コーパス、学習英和辞書の重要語表示、複数のネイティブスピーカーの感覚的判断、国立国語研究所の「日本語の使用頻度」も考慮に入れて作成されている。SVL12000は1～12の12段階のレベル(各レベル1000語)の語彙リストから構成されており、Level 1 は英語の基礎をなす必須単語、Level 2 は日常生活で活躍する英単語、Level 3 は楽しく会話がはずむ英単語、Level 4 は読解の基礎を固める英単語、Level 5 が大学受験前に覚える英単語という位置づけになっている。

3 初級レベルの大学英語学習者のための語彙リストの選定方法

3.1 各種語彙頻度情報の統合

エクセルの「統合機能」を用い、複数のワークシート上に入力した上記の語彙リスト(2.1～2.4)を、JACET8000に統合した(その際、JACET8000の語彙と頻度を左端の2列に配置し、統合の基準として[上端行][左端列]を選択した)。

3.2 語彙の抽出

3.1で述べた「統合」により、以下の図に示したような語彙表を得た。

	A	B	O	D	E	F	G	H
1	JACET8000 単語	JACET8000 頻度順	中央教育研究所 中学校語彙	修正塩見 頻度(連番)	杉浦英語 I 頻度	杉浦英語 II 頻度	垣田(監) 三浦(編)	SVL12000
815	wonderful	814	4		470	518	21	1
816	protect	815	5	82	702	758	22	2
817	phone	816	6		1086	1125	13	1
818	avoid	817			1583	1033	22	3
819	search	818		32	1343	1008	26	3
820	bus	819	7	83	451	765 *		1
821	particular	820			1966	1147	19	2
822	method	821			1380	1183	12	2
823	flower	822	4	83	602	591 *		1
824	damage	823	1		997	1224	19	2

図 1： 各種語彙頻度情報をエクセル上で統合したもの

次にエクセルのオートフィルターの機能（エクセルのメニューから [データ] → [フィルタ] → [オートフィルタ] → [オプション] を選択）を用いて、以下のような条件で初級レベルの大学英語学習者のための語彙1145語を抽出した（Appendix 参照）。

表 10： 単語2000語抽出条件（1145語を抽出）

<中学校レベル語彙頻度情報>	
中央教育研究所（2002）中学校語彙	3 以下 or " "（空白）と等しい
<中学校・高等学校レベル語彙頻度情報>	
修正塩見頻度（連番）	30 以下 or " "（空白）と等しい
<高等学校レベル語彙頻度情報>	
杉浦英語 I 頻度	1500 以上 or " "（空白）と等しい
杉浦英語 II 頻度	1500 以上 or " "（空白）と等しい
垣田（監）三浦（編）（1987）	2 以上
<その他の語彙頻度情報>	
JACET8000	3000 以下
アルク SVL12000 頻度	5 以下

注：垣田・三浦（1987）の*は学習指導要領指定の必須語で、「2以上」の条件で除外される。

抽出した1145語は、中学校や高等学校レベルの語彙頻度リストにおいて頻度（注：頻度または教科書頻度）の高い語彙を除外し、また、中学校や高等学校およびその他一般向けの語彙リストで頻度の低い単語も除外して作成したものである。したがって、総語彙数は1000語程度であるが、既習と考えられる語彙や頻度の低い語彙をJACET8000の3000語レベルまでの語彙から除外しただけである。したがって、初級レベルの学習者の負担を軽減するために学習する総語彙数を抑えてはいるが、実質的なカバー率は維持していると考えられる。

もちろん、今回作成した学習者用語彙リストは一般学習用（English for General Purposes: EGP）の語彙である。例えば、TOEIC対策を考えるのであれば、今回提示したような語彙の学習を済ませた後に、Chujo and Nishigaki (2003) が提案するようなTOEIC用語彙リスト（1023語の Specialized TOEFL Vocabulary List）を学習することが効果的と考えられる。また、TOEFL 対策を考えるのであれば、Academic Word Listを学習することが効果的と考えられる（水本, 2006, p.14参照）。

ただし、水本（2006, p.14）が指摘しているように、「初級レベルの学習者には、まず頻度の高い基本語をしっかりとマスターさせることが重要であり、いきなりAWLのような語彙を学習させても、学習効果は低い」と考えられる（注：Nation, 2001参照；Chujo and Nishigaki, 2003の作成したTOEIC対策用の語彙リストをいきなり学習させることも同様に学習効果が低いと考えられる）。

注

本研究は、大学英語教育学会中国四国支部2006年度広島・山口・島根ブロック研究会（広島国際学院 立町キャンパス）において、「初級レベルの大学英語学習者のための語彙リストの選定について」というタイトルで発表したものに加筆・修正を加えたものである。

参考文献

- Chujo, K., & Nishigaki, C. (2003). Bridging the vocabulary gap: from EGP to EAP. *JACET Bulletin*, 37, 73-84.
- Kilgarriff, A. (1996). BNC database and word frequency lists. (2009年3月14日時点) <http://www.kilgarriff.co.uk/bnc-readme.html>

Nation, P. (2001). *Learning Vocabulary in Another Language*. Cambridge: Cambridge University Press.

相澤一美・石川慎一郎・村田 年(編) (2005)『『大学英語教育学会基本語リスト』に基づくJACET8000英単語』 桐原書店.

中央教育研究所 (2002)『研究報告No.60 平成14年度版 中学校英語教科書における語彙調査』

大学英語教育学会基本語改定委員会(編) (2003)「大学英語教育学会基本語リスト: JACET List of 8000 Basic Words」 大学英語教育学会

垣田直巳(監修)・三浦省五(編) (1987)『英語教科書使用語彙』 溪水社.

水本 篤 (2006)「TOEFL語彙の語彙レベル, 真正性, 特徴の検証」『言語文化学会論集』第27号, 3-15.

望月正道・相澤一美・投野由紀夫 (2003)『英語語彙指導マニュアル』 大修館.

塩見知之 (2002)『文部省検定済中学校・高等学校教科書に現れた英語の語彙』 北星堂.

杉浦千早 (2002)「杉浦リスト (eigo2, Ver. 1)」(2005年7月28日時点)

<http://grad.nufs.ac.jp/sugiura/sugiuralist.html>

杉浦千早 (2002)「杉浦リスト (eigo1, Ver. 2)」(2005年7月28日時点)

<http://grad.nufs.ac.jp/sugiura/sugiuralist.html>

瀬谷廣一 (2004)「平成14年度版 中学校英語教科書〈教科書別・学年別・品詞別〉語彙分析統計」(2005年11月24日時点)

<http://www.eng.ritsumei.ac.jp/seya/>

東京都中学校英語教育研究会研究部

「中英研(東京都中学校英語教育研究会)研究部中学校教科書語彙」(2006年11月25日時点)

<http://www.eigo.org/kenkyu/>

Appendix : 抽出した1145語

feeling process occur beginning require standard community general
painting industry affect sale strike attempt central quality pressure united
recent involve private lack concerned mention behavior particularly
understanding argue variety aware publish loss opportunity worth growth

determine direct evidence unless department strength announce generally
physical tax benefit labor establish perform production policy prevent
refer admit correct attend edge gain reflect complex response security per
aspect feature staff appeal extra highly path author relation relative prefer
seek current further factor lip task solution statement claim region
possibility replace lovely contract senior risk desire apply detail association
link explanation flow birth union aim structure function element relate
observe youth belief military familiar score grant route double committee
civil argument responsibility item account length flat treatment remind
insist bar background competition firm unable duty royal available sheet
title reveal organization tip minister stuff metal obviously traffic drug
economy maintain apart failure survey attract factory eventually request
essential league appearance sex display intend ought despite content
conflict contrast opposite slip slightly possibly switch assume characteristic
safety range row honor authority glance unit respond quarter extremely
lean conduct positive knee practical southern crime proper reaction
unfortunately formal effective defeat principle religion instrument arrange
religious associate scale data absolutely worried servant command
secretary extend stretch select consist impression affair properly
appropriate adopt concept valley operate fully ideal unlike gradually
prince acid sharp literature studio naturally profit existence excellent
recover discovery iron specific trial crisis fat vast widely rapidly
equipment equally status beneath satisfy novel enable merely apparently
fairly crew entirely cigarette connection closely annual advance contribute
soul perfectly division pupil election defense nearby otherwise context
revolution recall bother elderly declare entire obvious willing introduction
package broad crop deliver mostly afford concentrate originally pure
acquire panel typical reserve advise emotion prime coal mirror
appointment darkness emotional fund burst appreciate indicate fashion
lawyer alternative suggestion pleased mental shift code faith institution
combine warning identity agreement tone confidence bedroom historical
frequently examination nevertheless chest employee mass arrangement
normally advanced deny consumer sudden intelligence height rough
concentration threat achievement persuade stream accord relief strongly

estimate trace phrase bell inch inner wage rely childhood council vary
educational comfort export explore management financial trap partly
greatly presence totally define remarkable attractive majority cheek
property impact disaster gap murder chain organize valuable credit rare
identify mad unknown kingdom sigh household throat repair negative
railway previous eastern wealth vision channel tight debt blame
democracy rarely constant tough device agriculture pale imagination
pretend distinguish electronic poverty tale fault inform witness extent
protection conference guilty injury smooth politician upset swing transport
legal relatively conclusion necessarily boot pot shortly cash port cast
perception text odd encounter locate reward mood promote philosophy
stock media immediate entrance lecture crack circumstance rapid justice
distant survival elect boss contribution obtain colleague vehicle sensitive
folk volume wound awful pleasant remark ease pole enormous pride urge
drama passage rescue destruction gaze predict diet convince grab shore
latter income excitement engineer electric sake pile drag creative target
pipe merchant location compete actual purchase editor opposition
ceremony owe significant slight file error arrival agricultural clothe
companion detailed somewhat pace sum admire praise bench confident
strip prayer criminal permanent transfer moral curious dramatic entry
zone motion bay ruin extreme criticism brief depth dare creation
meanwhile shell reject decrease emphasis flash weigh react defend
everyday severe apartment trail description incident critical empire
regularly confuse occupy representative deserve rid clothing angle fence
emerge abandon retire governor application grin column advertising
frame foundation slide suspect critic brilliant bathroom neighborhood
precious confusion funeral resist intelligent conscious tunnel assembly
permission mixture hesitate register executive apparent landscape exact
chase quantity estate tune peak solid pond engineering grain absorb
consequence suitable teenager flesh outline tank constitution cottage
constantly essay approve explosion conclude charity daddy cattle pig golf
rub substance bitter raw orchestra agent grateful sample rat permit bet
pin calculate mere butter grand absence participate demonstrate drift
import afterward discipline ceiling pitch vital accompany holy delay

engage steam spiritual treaty expose clue manufacturer stroke capture
beg painter extraordinary upstairs handsome recognition adapt disturb
competitive capacity hunting false assumption housing technical motor
seal largely efficient adjust forgive grip divorce basically wander differ
rival bound steel runner parliament anxious remote invitation liquid
resistance myth opponent rank restore devote aside rider construct
producer rail nursing jail unexpected advertisement satisfaction possession
comparison cotton improvement settlement midnight furniture concrete
nursery contemporary regret heavily harbor index businessman oppose
surrounding awake manufacture sacrifice spare hire sack classic warmth
academic manual proceed analyze outer fate moreover upper previously
swallow bible bush compose tide delight sacred tomato significance infant
wipe universal shelf legend interrupt lower carriage ambition differently
demonstration effectively phase wire phenomenon paragraph ancestor
relieve cope sharply anxiety capable preparation scholar stable tendency
delighted complicated journalist farming visual nerve nowhere pursue
chamber enthusiasm carpet leather silk exception awareness architecture
downstairs bang newly instant needle safely leadership overseas necessity
announcement dawn perceive automatically twin illustrate drill monkey
hint physically eagle notion strain visible republic routine accurate inspire
mask welfare magnificent brand fortunately supreme log bond blanket
minor twist obey translation endless reputation horrible acre designer
brick lifetime educate tropical landing widespread precisely drain stir
burden barely classical bean fantasy supporter harmony personally
broadcast lane occupation chat dancer physics ugly nowadays preference
reverse dull penny summit percentage convey wealthy tension curl
squeeze tent lamp desperate split sympathy salary entertainment
prejudice wisdom altogether beast thumb intellectual shed sponsor snake
weakness snap historic profession girlfriend disappointment emphasize
innocent deck vanish vitamin breast nonsense bull genius anniversary
desperately superior seize flexible transform punch mutual toe fist explode
consciousness murmur dozen assignment canal fulfill jaw frequent literary
briefly machinery neat seldom hop diamond passion unpleasant eager
promotion definitely grasp cabin craft liberty steady reflection ruler

uncomfortable numerous govern destination shortage commonly
surprisingly navy portrait bat sculpture dominant reservation unnecessary
leisure glory calendar corn faint flame surgeon mentally psychology spray
abstract lap maker readily highway propose mineral fairy frog compound
butterfly palm instinct corridor cruel heel invasion spill psychologist insult
triumph cafe ladder correctly crawl satellite declaration panic sauce yell
drawer suck racial fighter container literally web terribly killer shame
mess charming splendid memorial scatter apologize chart psychological
informal mechanical delicate atom packet hook secondly lung luxury
invention gear criticize inhabitant margin rumor steep pavement jungle
battery seller shallow instantly sunshine charm bless bride ashamed
artistic boyfriend tobacco chin cliff forehead dignity organism despair
honestly towel villager miserable doorway emperor frown composer
uncertainty blend monument anymore interfere drown underneath loose
geography steadily essence arrow exclaim generous jet humanity
exploration spoil immigrant cupboard lightly undoubtedly electrical
biological resemble fur comedy patch cab headline robot expedition globe
sailor pine ray regardless powder dragon marine similarity outdoor
specially cage urgent deer thrill sensation fancy wool sofa noisy descend
awkward plead dislike dive listener bullet petrol trader signature airplane
casual boil lump weave goat equality lawn fetch primitive wrist backward
alike nightmare suicide nasty passive trunk honey cheat